

「計算機等の運用管理支援及び監視業務」に係る
民間競争入札の事業開始時期の一年延期について

令和5年2月24日
大学共同利用機関法人
高エネルギー加速器研究機構

1 業務概要

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（以下「本機構」という。）では、本機構の職員や他研究機関等の共同研究者らが行う研究や業務に対して重要な役割を担う各種計算機システム、ネットワークシステム及び関連設備（監視設備、電源、空調等）、各種ソフトウェア等の運用管理支援、利用者支援補助及び監視業務（以下「運用管理支援等業務」という。）について、専門の事業者に委託している。

この業務は、従前の調達において一者応札が継続し、競争性の確保に課題があったことから令和6年4月1日から民間競争入札を実施した契約をすることとして「公共サービス改革基本方針」（令和4年7月5日閣議決定）の別表に掲載されている事業である。

【参考：公共サービス改革基本方針」（令和4年7月5日閣議決定）の別表】

【業務の概要及び入札等の対象範囲】

各種計算機システム、ネットワークシステム及び関連設備（監視設備、電源、空調等）、各種ソフトウェア等の運用管理支援、利用者支援補助及び監視業務

【入札等の実施予定時期】

令和5年10月を目途に入札公告を実施

【契約期間】

令和6年4月から令和8年3月までの2年間

2 事業開始時期を延期する必要性

本件は、別途契約している「高エネルギー加速器研究機構中央計算機システム」、「高エネルギー加速器研究機構セキュアネットワークシステム」の運用管理支援等業務を委託するものである。

運用管理支援等業務の主要な実施対象である両システムとも令和6年8月に契約が終了する。そのため、現在、令和6年9月から機器を入れ替えるための新たな調達手続きを進めているところであるが、国内外の新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻などに伴い、物価高騰や資材調達の見通しが経たないこと等により、機器構成の仕様、予算規模等の決定に時間を要している。

上記のとおり、本運用管理支援等業務の仕様書の作成に大きく関わっている両システムの次期契約の準備に時間を要していることから、令和5年度中に民間競争入札の手続きを含めたスケジュールを組むことが困難な状況になっているため、民間競争入札の事業開始時期を一年間延期することとしたい。

なお、民間競争入札を契機に複数年契約へ見直す計画としている。

3 令和6年度の調達方針

本運用管理支援等業務は、一般競争入札（最低価格落札方式）による単年度契約で調達する予定である。

（契約期間） 令和6年4月から令和7年3月までの1年間

（スケジュール）

5年10～12月 入札公告（公告期間2か月）

12月 開札

6年 4月 契約開始

4 延期に係るスケジュール等

「計算機等の運用管理支援及び監視業務」

【当初予定】

（契約期間） 令和6年4月から令和8年3月までの2年間

（スケジュール）

5年 1～3月 キックオフ（準備・調整など）

6月 入札監理小委員会

6～7月 パブリックコメント（2週間）

10月 官民競争入札等監理委員会（本委員会）

10～12月 入札公告（公告期間2か月）

12月 入開札 ⇒落札者の暴力団排除確認手続

6年 4月 契約開始

【変更予定】

（契約期間） 令和7年4月から令和9年3月までの2年間

（スケジュール）

6年 5月 入札監理小委員会

6月 パブリックコメント（2週間）

7月 官民競争入札等監理委員会（本委員会）

8～11月 入札公告（公告期間3か月）

11月 開札 ⇒落札者の暴力団排除確認手続

7年 4月 契約開始

なお、別途契約している「高エネルギー加速器研究機構中央計算機システム」、「高エネルギー加速器研究機構セキュアネットワークシステム」についても、令和6年9月からの運用に向けて、手続きを進めていくこととしている。